インラインペアモードでのFTDインターフェイ スの設定

内容

はじめに

前提条件

要件

使用するコンポーネント

関連製品

背景説明

FTDでのインラインペアインターフェイスの設定

<u>ネットワーク図</u>

<u>確認</u>

FTDのインラインペアインターフェイスの動作の確認

基本理論

検証1.Packet-Tracerの使用

検証2.インラインペアを使用したTCP SYN/ACKパケットの送信

検証3.許可されたトラフィックのファイアウォールエンジンデバッグ

検証4.リンクステートプロパゲーションの確認

<u>検証5.スタティックNATの設定</u>

<u>インラインペアインターフェイスモードでのパケットのブロック</u>

<u>タップによるインラインペアモードの設定</u>

FTDのタップ付きインラインペアのインターフェイス動作の確認

インラインペアとEtherchannel

FTDで終端されたEtherChannel

FTD経由のEtherChannel

<u>トラブルシュート</u>

<u>比較:インラインペアとタップ付きインラインペア</u>

要約

関連情報

はじめに

このドキュメントでは、Firepower Threat Defense(FTD)アプライアンスのインラインペアインターフェイス(IPAIR)の設定、検証、および動作について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する特定の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Firepower4150 FTD (コード6.1.0.xおよび6.3.x)
- Firepower Management Center(FMC) (コード6.1.0.xおよび6.3.x)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

関連製品

このドキュメントは、次のバージョンのハードウェアとソフトウェアにも使用できます。

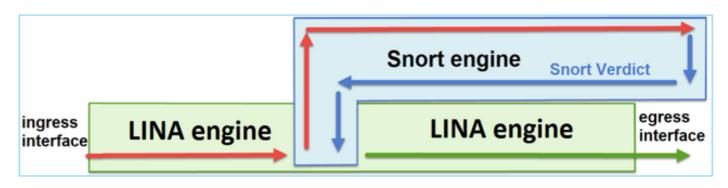
- ASA5506-X, ASA5506W-X, ASA5506H-X, ASA5508-X, ASA5516-X
- ASA5512-X、ASA5515-X、ASA5525-X、ASA5545-X、ASA5555-X
- FPR2100、FPR4100、FPR9300
- VMware (ESXi)、Amazon Web Services (AWS)、カーネルベース仮想マシン(KVM)
- FTDソフトウェアコード6.2.x以降

背景説明

FTD は、2 つの主要なエンジンで構成される統合ソフトウェアイメージです。

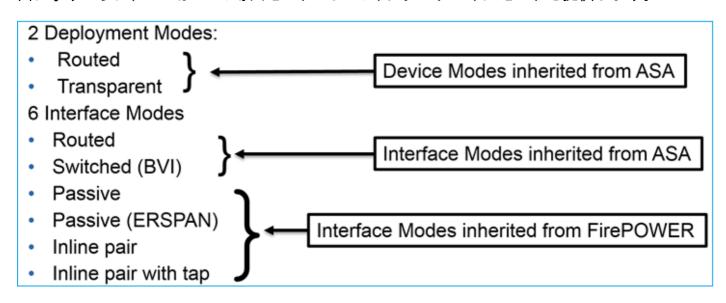
- LINA エンジン
- Snortエンジン

次の図に、2つのエンジンがどのように連携するかを示します。



- パケットが入力インターフェイスに入り、LINA エンジンによって処理される
- FTD ポリシーで求められている場合、パケットが Snort エンジンによって検査される
- Snortエンジンは、パケットの判定を返します
- ・ LINA エンジンは、Snort の判定に基づいてパケットをドロップまたは転送する

図に示すように、FTDは2つの導入モードと6つのインターフェイスモードを提供します。



▶注:単一のFTDアプライアンスで複数のインターフェイスモードを混在させることができます。

FTD のさまざまな展開モードおよびインターフェイス モードの概要を次に示します。

FTD インターフェイス モード	FTD 展開モード	説明	トラフィックの ドロップの可否
Routed	Routed	LINAエンジンおよびSnortエンジ ンのフルチェック	Yes
交換された	トランスペアレント	LINAエンジンおよびSnortエンジ ンのフルチェック	Yes
インライン ペア	ルーテッドまた はトランスペア レント	部分的なLINAエンジンおよび完 全なSnortエンジンのチェック	Yes
タップ付きイン ライン ペア	ルーテッドまた はトランスペア レント	部分的なLINAエンジンおよび完 全なSnortエンジンのチェック	いいえ
Passive	ルーテッドまた はトランスペア レント	部分的なLINAエンジンおよび完 全なSnortエンジンのチェック	いいえ

パッシブ (ERSPAN)

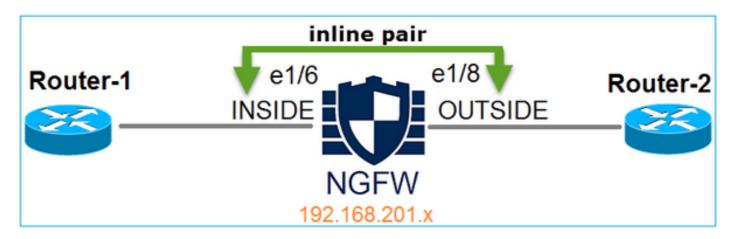
Routed

部分的なLINAエンジンおよび完全なSnortエンジンのチェック

いいえ

FTDでのインラインペアインターフェイスの設定

ネットワーク図



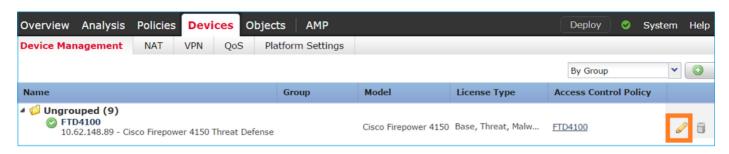
Requirement

次の要件に従って、インラインペアモードで物理インターフェイスe1/6およびe1/8を設定します。

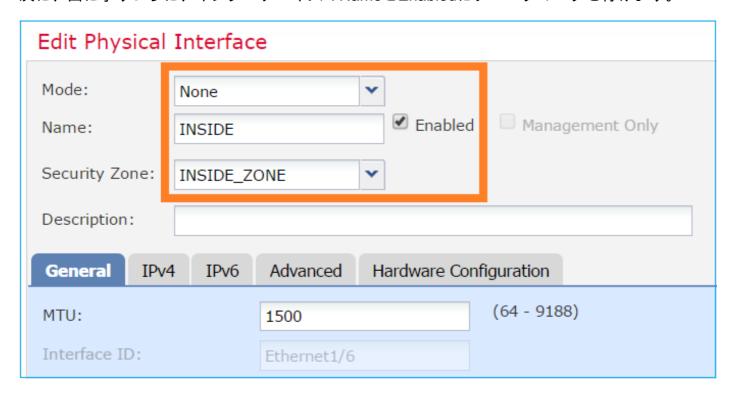
インターフェイス	e1/6	e1/8
[名前(Name)]	INSIDE	OUTSIDE
セキュリティ ゾーン	INSIDE_ZONE	OUTSIDE_ZONE
インライン セット名	Inline-Pair-1	
インライン セット MTU	1,500	
フェールセーフ	Enabled	
リンク ステートの伝達	Enabled	

解決方法

ステップ 1:個々のインターフェイスに設定するには、Devices > Device Managementに移動し、適切なデバイスを選択して、図に示すようにEditを選択します。

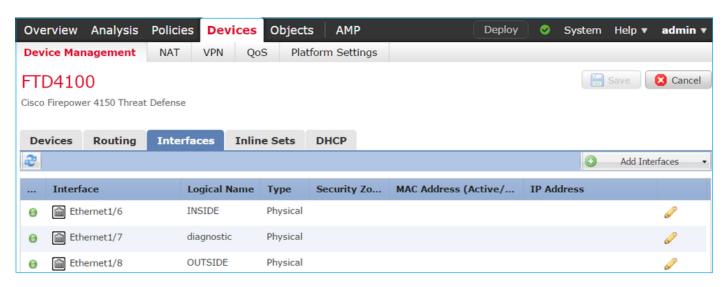


次に、図に示すように、インターフェイスのNameとEnabledにチェックマークを付けます。



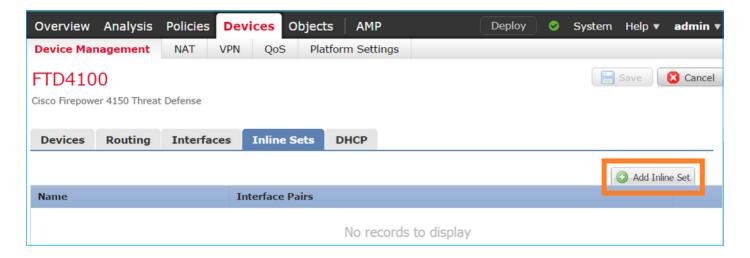
🦠 注:「Name」はインターフェイスのnameifです。

インターフェイス Ethernet1/8 も同様に設定します。最終的な結果は次の図のようになります。

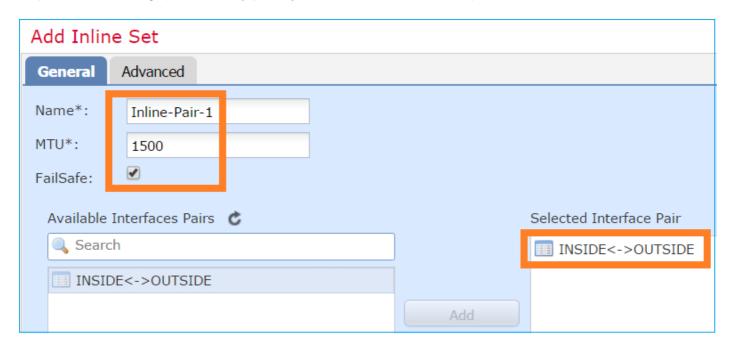


ステップ 2: インラインペアを設定します。

図に示すように、Inline Sets > Add Inline Setの順に移動します。

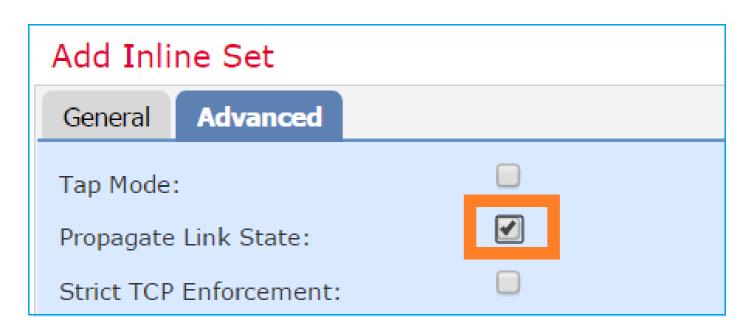


ステップ3:図に示すように、要件に従って一般設定を行います。



◆ 注:フェールセーフを使用すると、インターフェイスバッファがいっぱいになった場合(通常はデバイスが過負荷またはSnortエンジンが過負荷になっている場合)に、トラフィックがインラインペアを非検査で通過できるようになります。インターフェイス バッファ サイズは動的に割り当てられます。

ステップ 4:図に示すように、Advanced SettingsのPropagate Link Stateオプションを有効にします。



リンク ステート プロパゲーションにより、インライン セットのいずれかのインターフェイスが ダウンした場合に、インライン インターフェイス ペアのもう一方のインターフェイスが自動的に ダウンします。

ステップ5:変更を保存して展開します。

確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

FTD CLIからインラインペアの設定を確認します。

解決方法

FTD CLIにログインし、インラインペアの設定を確認します。

> show inline-set

Inline-set Inline-Pair-1
 Mtu is 1500 bytes
Failsafe mode is on/activated
Failsecure mode is off
Tap mode is off
Propagate-link-state option is on
hardware-bypass mode is disabled
Interface-Pair[1]:
 Interface: Ethernet1/6 "INSIDE"
 Current-Status: UP
 Interface: Ethernet1/8 "OUTSIDE"
 Current-Status: UP
 Bridge Group ID: 509



🍑 注:ブリッジグループIDは0以外の値です。ただし、タップ モードがオンになっている場合 は0になります。

インターフェイスと名前の情報を確認します。

<#root>

show nameif

Interface Name	
Ethernet1/6 INSIDE	0
Ethernet1/7 diagnostic	0
Ethernet1/8 OUTSIDE	0

インターフェイスのステータスを確認します。

<#root>

> show interface ip brief

Interface	IP-Address	OK? Method	Status	Protocol
Internal-Data0/0	unassigned	YES unset	up	up
Internal-Data0/1	unassigned	YES unset	up	up
Internal-Data0/2	169.254.1.1	YES unset	up	up
Ethernet1/6	unassigned	YES unset	up	up
Ethernet1/7	unassigned	YES unset	up	up
Ethernet1/8	unassigned	YES unset	up	up

物理インターフェイス情報を確認します。

<#root>

show interface e1/6

```
Interface Ethernet1/6 "INSIDE", is up, line protocol is up
 Hardware is EtherSVI, BW 1000 Mbps, DLY 1000 usec
       MAC address 5897.bdb9.770e, MTU 1500
IPS Interface-Mode: inline, Inline-Set: Inline-Pair-1
        IP address unassigned
 Traffic Statistics for "INSIDE":
        468 packets input, 47627 bytes
        12 packets output, 4750 bytes
        1 packets dropped
     1 minute input rate 0 pkts/sec, 200 bytes/sec
     1 minute output rate 0 pkts/sec, 7 bytes/sec
     1 minute drop rate, 0 pkts/sec
     5 minute input rate 0 pkts/sec, 96 bytes/sec
     5 minute output rate 0 pkts/sec, 8 bytes/sec
     5 minute drop rate, 0 pkts/sec
show interface e1/8
Interface Ethernet1/8 "OUTSIDE", is up, line protocol is up
 Hardware is EtherSVI, BW 1000 Mbps, DLY 1000 usec
       MAC address 5897.bdb9.774d, MTU 1500
IPS Interface-Mode: inline, Inline-Set: Inline-Pair-1
        IP address unassigned
 Traffic Statistics for "OUTSIDE":
        12 packets input, 4486 bytes
        470 packets output, 54089 bytes
       O packets dropped
     1 minute input rate 0 pkts/sec, 7 bytes/sec
     1 minute output rate 0 pkts/sec, 212 bytes/sec
     1 minute drop rate, 0 pkts/sec
     5 minute input rate 0 pkts/sec, 7 bytes/sec
     5 minute output rate 0 pkts/sec, 106 bytes/sec
     5 minute drop rate, 0 pkts/sec
```

FTDのインラインペアインターフェイスの動作の確認

このセクションでは、インラインペアの動作を確認するための次の検証チェックについて説明し

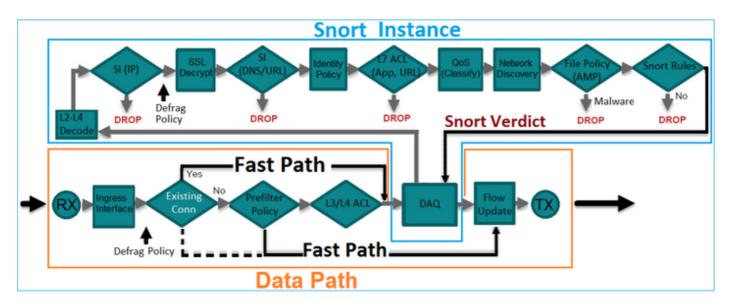
ます。

- 検証1.パケットトレーサの使用
- 検証2.トレースによるキャプチャを有効にし、インラインペアを介してTCP同期/確認応答 (SYN/ACK)パケットを送信します
- 検証3.ファイアウォールエンジンデバッグを使用したFTDトラフィックの監視
- 検証4.リンクステートプロパゲーション機能の確認
- 検証5.スタティックネットワークアドレス変換(NAT)の設定

解決方法

アーキテクチャの概要

2つのFTDインターフェイスがインラインペアモードで動作している場合は、図に示すようにパケットが処理されます。

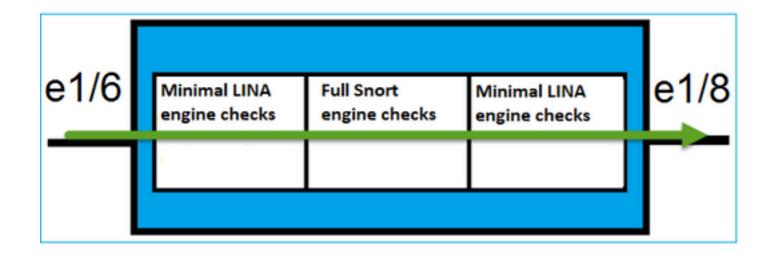


◆注:インラインペアセットのメンバにできるのは物理インターフェイスだけです

基本理論

- インラインペアを設定すると、2つの物理インターフェイスが内部的にブリッジされます
- 従来のインライン侵入防御システム(IPS)に非常によく似ている
- ルーテッドまたはトランスペアレント展開モードで使用できる。
- ほとんどのLINAエンジン機能(NAT、ルーティングなど)は、インラインペアを通過する フローには使用できません
- 中継トラフィックをドロップできる。
- Snortエンジンのフルチェックとともに、いくつかのLINAエンジンチェックが適用されます

最後の点は、次の図のように視覚化できます。



検証1.Packet-Tracerの使用

次のパケットトレーサの出力では、インラインペアを通過するパケットをエミュレートしていますが、重要な点が強調表示されています。

<#root>

>

packet-tracer input INSIDE tcp 192.168.201.50 1111 192.168.202.50 80

Phase: 1

Type: ACCESS-LIST

Subtype: Result: ALLOW Config:

Implicit Rule

Additional Information:

MAC Access list

Phase: 2

Type: NGIPS-MODE

Subtype: ngips-mode

Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

The flow ingressed an interface configured for NGIPS mode and NGIPS services is be applied

Phase: 3

Type: ACCESS-LIST

Subtype: log Result: ALLOW

Config:

access-group CSM_FW_ACL_ global

access-list CSM_FW_ACL_ advanced permit ip any any rule-id 268438528

access-list CSM_FW_ACL_ remark rule-id 268438528: ACCESS POLICY: FTD4100 - Default/1

access-list CSM_FW_ACL_ remark rule-id 268438528: L4 RULE: DEFAULT ACTION RULE

Additional Information:

This packet is sent to snort for additional processing where a verdict is reached

Phase: 4

Type: NGIPS-EGRESS-INTERFACE-LOOKUP

Subtype: Resolve Egress Interface

Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

Ingress interface INSIDE is in NGIPS inline mode.

Egress interface OUTSIDE is determined by inline-set configuration

Phase: 5

Type: FLOW-CREATION

Subtype: Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

New flow created with id 106, packet dispatched to next module

Result:

input-interface: INSIDE

input-status: up
input-line-status: up

Action: allow

>

検証2.インラインペアを使用したTCP SYN/ACKパケットの送信

Scapyなどのユーティリティを作成するパケットを使用して、TCP SYN/ACKパケットを生成できます。次の構文では、SYN/ACKフラグが有効な3つのパケットが生成されます。

```
<#root>
root@KALI:~#
scapy
INFO: Can't import python gnuplot wrapper . Won't be able to plot.
WARNING: No route found for IPv6 destination :: (no default route?)
Welcome to Scapy (2.2.0)
conf.iface='eth0'
packet = IP(dst="192.168.201.60")/TCP(flags="SA",dport=80)
>>>
syn_ack=[]
>>>
for i in range(0,3): # Send 3 packets
syn_ack.extend(packet)
>>>
send(syn_ack)
FTD CLIでこのキャプチャを有効にし、いくつかのTCP SYN/ACKパケットを送信します。
<#root>
capture CAPI interface INSIDE trace match ip host 192.168.201.60 any
capture CAPO interface OUTSIDE match ip host 192.168.201.60 any
```

FTDを介してパケットを送信した後、作成された接続を確認できます。

```
<#root>
show conn detail
1 in use, 34 most used
Flags: A - awaiting responder ACK to SYN, a - awaiting initiator ACK to SYN,
b - TCP state-bypass or nailed,
       C - CTIQBE media, c - cluster centralized,
       D - DNS, d - dump, E - outside back connection, e - semi-distributed,
       F - initiator FIN, f - responder FIN,
       G - group, g - MGCP, H - H.323, h - H.225.0, I - initiator data,
       i - incomplete, J - GTP, j - GTP data, K - GTP t3-response
       k - Skinny media, M - SMTP data, m - SIP media,
N - inspected by Snort
, n - GUP
       0 - responder data, P - inside back connection,
       q - SQL*Net data, R - initiator acknowledged FIN,
       R - UDP SUNRPC, r - responder acknowledged FIN,
       T - SIP, t - SIP transient, U - up,
       V - VPN orphan, v - M3UA W - WAAS,
       w - secondary domain backup,
       X - inspected by service module,
       x - per session, Y - director stub flow, y - backup stub flow,
       Z - Scansafe redirection, z - forwarding stub flow
TCP Inline-Pair-1:OUTSIDE(OUTSIDE): 192.168.201.60/80 Inline-Pair-1:INSIDE(INSIDE): 192.168.201.50/20,
flags b N
, idle 13s, uptime 13s, timeout 1h0m, bytes 0
```



💊 注:bフラグ:従来のASAは、TCP状態バイパスが有効になっていない限り、非要請 SYN/ACKパケットをドロップします。インラインペアモードのFTDインターフェイスは、 TCP状態バイパスモードのTCP接続を処理し、既存の接続に属さないTCPパケットをドロッ プしません。



🦠 注:Nフラグ:パケットはFTD Snortエンジンによって検査されます。

FTDを通過する3つのパケットを確認できるため、キャプチャはこれを証明します。

```
<#root>
show capture CAPI
3 packets captured
 0:0(0)
ack
0 win 8192
 2: 15:27:54.330000
               192.168.201.50.20 > 192.168.201.60.80:
0:0(0)
ack
0 win 8192
 3: 15:27:54.332517 192.168.201.50.20 > 192.168.201.60.80:
0:0(0)
ack
0 win 8192
3 packets shown
3パケットがFTDデバイスから出力されます。
<#root>
show capture CAPO
3 packets captured
 s
0:0(0)
```

```
0 win 8192
  2: 15:27:54.330030
                         192.168.201.50.20 > 192.168.201.60.80:
s
0:0(0)
ack
0 win 8192
  3: 15:27:54.332548
                    192.168.201.50.20 > 192.168.201.60.80:
0:0(0)
ack
0 win 8192
3 packets shown
最初のキャプチャパケットのトレースによって、Snortエンジンの判定などの追加情報が明らかに
なります。
<#root>
show capture CAPI packet-number 1 trace
3 packets captured
  1: 15:27:54.327146
                         192.168.201.50.20 > 192.168.201.60.80:
s
0:0(0)
ack
0 win 8192
Phase: 1
Type: CAPTURE
Subtype:
Result: ALLOW
Config:
Additional Information:
MAC Access list
Phase: 2
Type: ACCESS-LIST
Subtype:
Result: ALLOW
Config:
Implicit Rule
```

ack

Additional Information:

MAC Access list

Phase: 3

Type: NGIPS-MODE Subtype: ngips-mode

Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

The flow ingressed an interface configured for NGIPS mode and NGIPS services is applied

Phase: 4

Type: ACCESS-LIST Subtype: log Result: ALLOW

Config:

access-group CSM_FW_ACL_ global

access-list CSM_FW_ACL_ advanced permit ip any any rule-id 268438528

access-list CSM_FW_ACL_ remark rule-id 268438528: ACCESS POLICY: FTD4100 - Default/1

access-list CSM_FW_ACL_ remark rule-id 268438528: L4 RULE: DEFAULT ACTION RULE

Additional Information:

This packet is sent to snort for additional processing where a verdict is reached

Phase: 5

Type: NGIPS-EGRESS-INTERFACE-LOOKUP Subtype: Resolve Egress Interface

Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

Ingress interface INSIDE is in NGIPS inline mode.

Egress interface OUTSIDE is determined by inline-set configuration

Phase: 6

Type: FLOW-CREATION

Subtype: Result: ALLOW Config:

Additional Information:

New flow created with id 282, packet dispatched to next module

Phase: 7

Type: EXTERNAL-INSPECT

Subtype: Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

Application: 'SNORT Inspect'

Phase: 8
Type: SNORT

Subtype:

Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

Snort Verdict: (pass-packet) allow this packet

Phase: 9
Type: CAPTURE
Subtype:
Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

MAC Access list

Result:

input-interface: OUTSIDE

input-status: up
input-line-status: up

Action: allow

1 packet shown

>

2番目にキャプチャされたパケットのトレースでは、パケットが現在の接続に一致するため、 ACLチェックをバイパスするものの、Snortエンジンによって検査されることが示されています。

<#root>

>

show capture CAPI packet-number 2 trace

3 packets captured

S

0:0(0)

ack

O win 8192 Phase: 1 Type: CAPTURE Subtype: Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

MAC Access list

Phase: 2

Type: ACCESS-LIST

Subtype:

Result: ALLOW

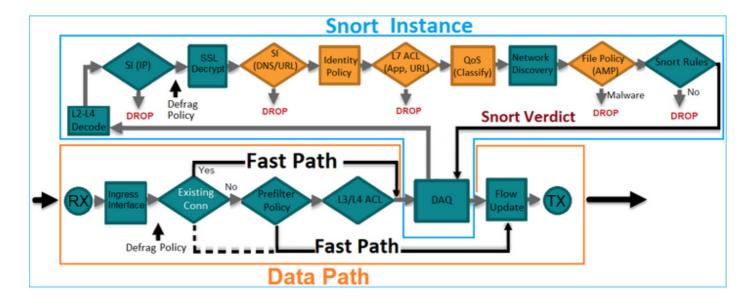
Config:

Implicit Rule Additional Information: MAC Access list Phase: 3 Type: FLOW-LOOKUP Subtype:ing Result: ALLOW Config: Additional Information: Found flow with id 282, using current flow Phase: 4 Type: EXTERNAL-INSPECT Subtype: Result: ALLOW Config: Additional Information: Application: 'SNORT Inspect' Phase: 5 Type: SNORT Subtype: Result: ALLOW Config: Additional Information: Snort Verdict: (pass-packet) allow this packet Phase: 6 Type: CAPTURE Subtype: Result: ALLOW Config: Additional Information: MAC Access list Result: input-interface: OUTSIDE input-status: up input-line-status: up Action: allow

1 packet shown

検証3.許可されたトラフィックのファイアウォールエンジンデバッグ

ファイアウォールエンジンのデバッグは、図に示すように、アクセスコントロールポリシーなどのFTD Snortエンジンの特定のコンポーネントに対して実行されます。



インラインペア経由でTCP SYN/ACKパケットを送信すると、デバッグ出力に次のように表示されます。

```
<#root>
>
system support firewall-engine-debug

Please specify an IP protocol:
tcp

Please specify a client IP address:
Please specify a client port:
Please specify a server IP address:
192.168.201.60

Please specify a server port:
80
```

Monitoring firewall engine debug messages

192.168.201.60-80 > 192.168.201.50-20 6 AS 4 I 12 New session

192.168.201.60-80 > 192.168.201.50-20 6 AS 4 I 12 using HW or preset rule order 3, id 268438528 action A

192.168.201.60-80 > 192.168.201.50-20 6 AS 4 I 12 allow action

192.168.201.60-80 > 192.168.201.50-20 6 AS 4 I 12 Deleting session

検証4.リンクステートプロパゲーションの確認

FTDのバッファログを有効にし、e1/6インターフェイスに接続されたスイッチポートをシャットダウンします。FTD CLIで、両方のインターフェイスがダウンしたことを確認する必要があります。

<#root>

>

show interface ip brief

<pre>Interface Internal-Data0/0 Internal-Data0/1 Internal-Data0/2</pre>	IP-Address unassigned unassigned 169.254.1.1	OK? Method YES unset YES unset YES unset	Status up up up	Protocol up up up
Ethernet1/6	unassigned	YES unset	down	down
Ethernet1/7	unassigned	YES unset	up	up
Ethernet1/8	unassigned	YES unset	administratively down	up

.

FTD のログは次のとおりです。

<#root>

>

show log

Jan 03 2017 15:53:19: %ASA-4-411002:

Line protocol on Interface Ethernet1/6, changed state to down

Jan 03 2017 15:53:19: %ASA-4-411004:

Interface OUTSIDE, changed state to administratively down

Jan 03 2017 15:53:19: %ASA-4-411004:

Interface Ethernet1/8, changed state to administratively down

```
Jan 03 2017 15:53:19: %ASA-4-812005:
Link-State-Propagation activated on inline-pair due to failure of interface Ethernet1/6(INSIDE) bringing
inline-set ステータスには、2 つのインターフェイス メンバーの状態が示されます。
<#root>
show inline-set
Inline-set Inline-Pair-1
 Mtu is 1500 bytes
  Failsafe mode is on/activated
 Failsecure mode is off
 Tap mode is off
 Propagate-link-state option is on
  hardware-bypass mode is disabled
Interface-Pair[1]:
   Interface: Ethernet1/6 "INSIDE"
     Current-Status: Down(Propagate-Link-State-Activated)
   Interface: Ethernet1/8 "OUTSIDE"
     Current-Status: Down(Down-By-Propagate-Link-State)
   Bridge Group ID: 509
2つのインターフェイスのステータスの違いを確認します。
<#root>
```

show interface e1/6

Hardware is EtherSVI, BW 1000 Mbps, DLY 1000 usec
MAC address 5897.bdb9.770e, MTU 1500
IPS Interface-Mode: inline, Inline-Set: Inline-Pair-1

Propagate-Link-State-Activated

IP address unassigned
Traffic Statistics for "INSIDE":
 3393 packets input, 234923 bytes
 120 packets output, 49174 bytes
 1 packets dropped
 1 minute input rate 0 pkts/sec, 0 bytes/sec
 1 minute output rate 0 pkts/sec, 0 bytes/sec
 1 minute drop rate, 0 pkts/sec
 5 minute input rate 0 pkts/sec, 6 bytes/sec
 5 minute output rate 0 pkts/sec, 3 bytes/sec
 5 minute drop rate, 0 pkts/sec

Ethernet1/8 インターフェイスの状態は次のとおりです。

<#root>

show interface e1/8

Interface Ethernet1/8 "OUTSIDE", is administratively down, line protocol is up

Hardware is EtherSVI, BW 1000 Mbps, DLY 1000 usec

MAC address 5897.bdb9.774d, MTU 1500

IPS Interface-Mode: inline, Inline-Set: Inline-Pair-1

Down-By-Propagate-Link-State

IP address unassigned
Traffic Statistics for "OUTSIDE":
 120 packets input, 46664 bytes
 3391 packets output, 298455 bytes
 0 packets dropped
 1 minute input rate 0 pkts/sec, 0 bytes/sec
 1 minute output rate 0 pkts/sec, 0 bytes/sec
 1 minute drop rate, 0 pkts/sec
 5 minute input rate 0 pkts/sec, 3 bytes/sec
 5 minute output rate 0 pkts/sec, 8 bytes/sec
 5 minute drop rate, 0 pkts/sec

スイッチポートを再度有効にすると、FTDログに次のように表示されます。

```
<#root>
```

show log

. . .

Jan 03 2017 15:59:35: %ASA-4-411001:

Line protocol on Interface Ethernet1/6, changed state to up

Jan 03 2017 15:59:35: %ASA-4-411003:

Interface Ethernet1/8, changed state to administratively up

Jan 03 2017 15:59:35: %ASA-4-411003:

Interface OUTSIDE, changed state to administratively up

Jan 03 2017 15:59:35: %ASA-4-812006:

Link-State-Propagation de-activated on inline-pair due to recovery of interface Ethernet1/6(INSIDE) bring

>

検証5.スタティックNATの設定

解決方法

NATは、インラインモード、インラインタップモード、またはパッシブモードで動作するインターフェイスではサポートされません。

https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/security/firepower/601/configuration/guide/fpmc-config-guide-v601/Network Address Translation NAT for Threat Defense.html

インラインペアインターフェイスモードでのパケットのブロック

ブロックルールを作成し、FTDインラインペアを介してトラフィックを送信し、図に示すように動作を確認します。



解決方法

<#root>

Result: ALLOW

Additional Information:

Config:

トレースでのキャプチャを有効にして、FTD のインライン ペア経由で SYN/ACK パケットを送信します。トラフィックがブロックされます。

```
show capture

capture CAPI type raw-data trace interface INSIDE

[Capturing - 210 bytes]

match ip host 192.168.201.60 any
capture CAPO type raw-data interface OUTSIDE

[Capturing - 0 bytes]
```

match ip host 192.168.201.60 any

トレースを使用すると、パケットは次の内容を明らかにします。

```
<#root>
>
show capture CAPI packet-number 1 trace

3 packets captured
    1: 16:12:55.785085

192.168.201.50.20 > 192.168.201.60.80: S 0:0(0) ack 0 win 8192

Phase: 1
Type: CAPTURE
Subtype:
```

MAC Access list Phase: 2 Type: ACCESS-LIST Subtype: Result: ALLOW Config: Implicit Rule Additional Information: MAC Access list Phase: 3 Type: NGIPS-MODE Subtype: ngips-mode Result: ALLOW Config: Additional Information: The flow ingressed an interface configured for NGIPS mode and NGIPS services is applied Phase: 4 Type: ACCESS-LIST Subtype: log Result: DROP

Config:

access-group CSM_FW_ACL_ global

access-list CSM_FW_ACL_ advanced deny ip 192.168.201.0 255.255.255.0 any rule-id 268441600 event-log fl

access-list CSM_FW_ACL_ remark rule-id 268441600: ACCESS POLICY: FTD4100 - Mandatory/1

access-list CSM_FW_ACL_ remark rule-id 268441600: L4 RULE: Rule 1

Additional Information:

Result:

input-interface: INSIDE

input-status: up
input-line-status: up

Action: drop

1 packet shown

このトレースでは、パケットがFTD LINAエンジンによってドロップされ、FTD Snortエンジンに 転送されなかったことがわかります。

タップによるインラインペアモードの設定

インラインペアでタップモードを有効にします。

解決方法

図に示すように、Devices > Device Management > Inline Sets > Edit Inline Set > Advancedの順に移動し、Tap Modeを有効にします。

Edit Inline Set			
General	Advanced		
Tap Mode	:	•	
Propagate Link State:		✓	
Strict TCP Enforcement:			

検証

<#root>

>

show inline-set

Inline-set Inline-Pair-1
 Mtu is 1500 bytes
 Failsafe mode is on/activated
 Failsecure mode is off

Tap mode is on

Propagate-link-state option is on hardware-bypass mode is disabled Interface-Pair[1]:

Interface: Ethernet1/6 "INSIDE"

Current-Status: UP

Interface: Ethernet1/8 "OUTSIDE"

Current-Status: UP Bridge Group ID: 0

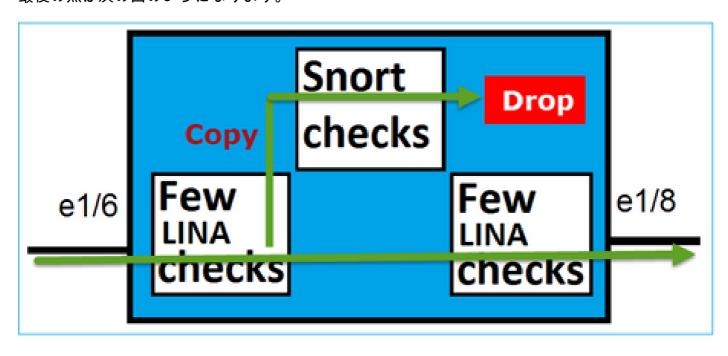
>

FTDのタップ付きインラインペアのインターフェイス動作の確認

基本理論

- タップ2を使用してインラインペアを設定すると、物理インターフェイスは内部でブリッジ されます
- ルーテッドまたはトランスペアレント展開モードで使用できる
- ほとんどのLINAエンジン機能(NAT、ルーティングなど)は、インラインペアを通過するフローには使用できません
- 実際のトラフィックはドロップできない。
- 実際のトラフィックのコピーに対するSnortエンジンのフルチェックとともに、いくつかの LINAエンジンチェックが適用されます

最後の点は次の図のようになります。



タップ付きインラインペアのモードでは、中継トラフィックはドロップされません。パケットのトレースを使用して、これを確認します。

```
<#root>
```

>

show capture CAPI packet-number 2 trace

3 packets captured

Phase: 1 Type: CAPTURE Subtype: Result: ALLOW Config:

Additional Information:

MAC Access list

Phase: 2

Type: ACCESS-LIST

Subtype: Result: ALLOW Config: Implicit Rule

Additional Information:

MAC Access list

Phase: 3

Type: NGIPS-MODE Subtype: ngips-mode

Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

The flow ingressed an interface configured for NGIPS mode and NGIPS services is applied

Phase: 4

Type: ACCESS-LIST Subtype: log

Result: WOULD HAVE DROPPED

Config:

access-group CSM_FW_ACL_ global

access-list CSM_FW_ACL_ advanced deny ip 192.168.201.0 255.255.255.0 any rule-id 268441600 event-log fl

access-list CSM_FW_ACL_ remark rule-id 268441600: ACCESS POLICY: FTD4100 - Mandatory/1

access-list CSM_FW_ACL_ remark rule-id 268441600: L4 RULE: Rule 1

Additional Information:

Result:

input-interface: INSIDE

input-status: up

input-line-status: up

Action: Access-list would have dropped, but packet forwarded due to inline-tap

1 packet shown

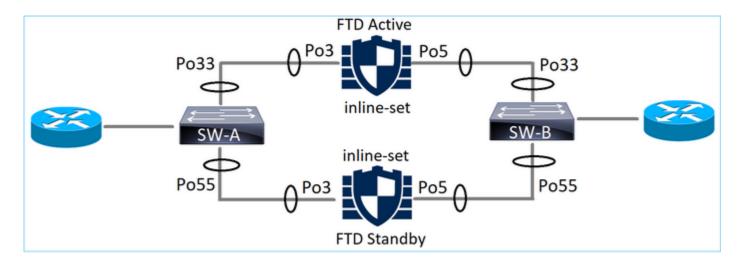
>

インラインペアとEtherchannel

Etherchannelを使用してインラインペアを設定するには、次の2つの方法があります。

- 1. FTDで終端されたEtherChannel
- 2. EtherchannelはFTDを通過します(FXOSコード2.3.1.3以降が必要)。

FTDで終端されたEtherChannel



SW-AØEtherChannel:

<#root>

SW-A#

show etherchannel summary | i Po33|Po55

33	Po33(SU)	LACP	Gi3/11(P)
35	Po35(SU)	LACP	Gi2/33(P)

SW-BØEtherChannel:

<#root>

show etherchannel summary | i Po33 | Po55

LACP 33 Po33(SU) Gi1/0/3(P)55 Po55(SU) LACP Gi1/0/4(P)

トラフィックは、MACアドレスラーニングに基づいてアクティブFTDを介して転送されます。

<#root>

SW-B#

show mac address-table address 0017.dfd6.ec00

Mac Address Table

Vlan Mac Address Type Ports -----____ -----

0017.dfd6.ec00 DYNAMIC 201

Po33

Total Mac Addresses for this criterion: 1

FTDのインラインセット:

<#root>

FTD#

show inline-set

Inline-set SET1 Mtu is 1500 bytes Fail-open for snort down is on Fail-open for snort busy is off Tap mode is off Propagate-link-state option is off hardware-bypass mode is disabled

Interface-Pair[1]:

Interface: Port-channel3 "INSIDE"

Current-Status: UP

Interface: Port-channel5 "OUTSIDE"

Current-Status: UP

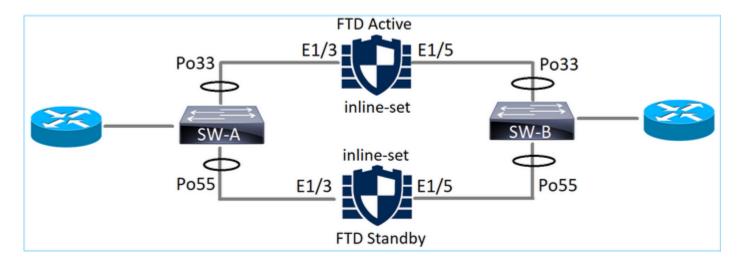
Bridge Group ID: 775





🍑 トピアのMACアドレスを学習するのにかかる時間に依存します。

FTD経由のEtherChannel



SW-AØEtherChannel:

<#root>

SW-A#

show etherchannel summary | i Po33 | Po55

33 Po33(SU) LACP Gi3/11(P) Po55(SD) 55 LACP Gi3/7

(I)

スタンバイFTDを通過するLACPパケットはブロックされます。

<#root>

FTD#

capture ASP type asp-drop fo-standby

FTD#

show capture ASP | i 0180.c200.0002

a0f8.4991.ba03 0180.c200.0002 0x8809 Length: 124 29: 15:28:32.658123 70: 15:28:47.248262 f0f7.556a.11e2 0180.c200.0002 0x8809 Length: 124

SW-BØEtherChannel:

<#root>

SW-B#

show etherchannel summary | i Po33 | Po55

33 Po33(SU) LACP Gi1/0/3(P) 55 Po55(SD) LACP Gi1/0/4

(s)

トラフィックは、MACアドレスラーニングに基づいてアクティブFTDを介して転送されます。

<#root>

SW-B#

show mac address-table address 0017.dfd6.ec00

Mac Address Table

Vlan Mac Address Type Ports

201 0017.dfd6.ec00 DYNAMIC

Po33

Total Mac Addresses for this criterion: 1

FTDのインラインセット:

<#root>

FTD#

show inline-set

Inline-set SET1
Mtu is 1500 bytes
Fail-open for snort down is on
Fail-open for snort busy is off
Tap mode is off
Propagate-link-state option is off
hardware-bypass mode is disabled

Interface-Pair[1]:

Interface: Ethernet1/3 "INSIDE"

Current-Status: UP

Interface: Ethernet1/5 "OUTSIDE"

Current-Status: UP

Bridge Group ID: 519

↑ 注意:このシナリオでは、FTDフェールオーバーイベントの場合、コンバージェンス時間は 主にEtherchannel LACPネゴシエーションに依存し、停止にかかる時間が非常に長くなる可 能性があります。EtherchannelモードがON(LACPなし)の場合、コンバージェンス時間は MACアドレスラーニングによって異なります。

トラブルシュート

現在のところ、この設定に関する特定の情報はありません。

比較:インラインペアとタップ付きインラインペア

	インライン ペア	タップ付きインライン ペア
show inline- set	> show inline-setの順に選択します。 Inline-set Inline-Pair-1 Mtu is 1500 bytes Failsafe mode is on/activated Failsecure mode is off Tap mode is off Propagate-link-state option is on hardware-bypass mode is disabled Interface-Pair[1]: インターフェイス: Ethernet1/6「 INSIDE」 現在のステータス: UP インターフェイス: Ethernet1/8「 OUTSIDE」 現在のステータス: UP ブリッジグループID:509	> show inline-setの順に選択します。 Inline-set Inline-Pair-1 Mtu is 1500 bytes Failsafe mode is on/activated Failsecure mode is off Tap mode is on Propagate-link-state option is on hardware-bypass mode is disabled Interface-Pair[1]: インターフェイス: Ethernet1/6「 INSIDE」 現在のステータス: UP インターフェイス: Ethernet1/8「 OUTSIDE」 現在のステータス: UP ブリッジグループID:0

> show interface e1/6 Interface Ethernet1/6 "INSIDE", is up, line protocol is up Hardware is EtherSVI, BW 1000 Mbps, DLY 1000 usec MAC address 5897.bdb9.770e. MTU 1500 IPSインターフェイスモード:イン ライン、インラインセット:インライン ペア1 IP address unassigned Traffic Statistics for "INSIDE": 3957 packets input, 264913 bytes 144 packets output, 58664 bytes 4 packets dropped 1 minute input rate 0 pkts/sec, 26 bytes/sec 1 minute output rate 0 pkts/sec, 7 bytes/sec 1 minute drop rate, 0 pkts/sec 5 minute input rate 0 pkts/sec, 28 bytes/sec 5 minute output rate 0 pkts/sec, 9 bytes/sec 5 minute drop rate, 0 pkts/sec > show interface e1/8 Interface Ethernet 1/8 "OUTSIDE", is up, line protocol is up Hardware is EtherSVI, BW 1000 Mbps. DLY 1000 usec MAC address 5897.bdb9.774d. MTU 1500 IPSインターフェイスモード:イン ライン、インラインセット:インライン ペア1 IP address unassigned Traffic Statistics for "OUTSIDE": 144 packets input, 55634 bytes 3954 packets output, 339987 bytes

0 packets dropped

bytes/sec

bvtes/sec

1 minute input rate 0 pkts/sec, 7

1 minute drop rate, 0 pkts/sec

1 minute output rate 0 pkts/sec, 37

show

interface

> show interface e1/6 Interface Ethernet1/6 "INSIDE", is up, line protocol is up Hardware is EtherSVI, BW 1000 Mbps, DLY 1000 usec MAC address 5897.bdb9.770e. MTU 1500 IPSインターフェイスモード:イン |ラインタップ、インラインセット:イン ラインペア1 IP address unassigned Traffic Statistics for "INSIDE": 24 packets input, 1378 bytes 0 packets output, 0 bytes 24 packets dropped 1 minute input rate 0 pkts/sec, 0 bytes/sec 1 minute output rate 0 pkts/sec, 0 bvtes/sec 1 minute drop rate, 0 pkts/sec 5 minute input rate 0 pkts/sec, 0 bytes/sec 5 minute output rate 0 pkts/sec, 0 bytes/sec 5 minute drop rate, 0 pkts/sec > show interface e1/8 Interface Ethernet1/8 "OUTSIDE", is up, line protocol is up Hardware is EtherSVI, BW 1000 Mbps, DLY 1000 usec MAC address 5897.bdb9.774d. MTU 1500 IPSインターフェイスモード:イン ラインタップ、インラインセット:イン ラインペア1 IP address unassigned Traffic Statistics for "OUTSIDE": 1 packets input, 441 bytes 0 packets output, 0 bytes 1 packets dropped 1 minute input rate 0 pkts/sec, 0 bytes/sec

1 minute output rate 0 pkts/sec, 0

1 minute drop rate, 0 pkts/sec

bytes/sec

5 minute input rate 0 pkts/sec, 8 5 minute input rate 0 pkts/sec, 0 bytes/sec bvtes/sec 5 minute output rate 0 pkts/sec, 39 5 minute output rate 0 pkts/sec, 0 bytes/sec bytes/sec 5 minute drop rate, 0 pkts/sec 5 minute drop rate, 0 pkts/sec > show capture CAPI packet-number 1 > show capture CAPI packet-number 1 traceの順に選択します traceの順に選択します 3 packets captured 3 packets captured 1: 16:12:55.785085 192.168.201.50.20 1: 16:56:02.631437 192.168.201.50.20 > 192.168.201.60.80: S 0:0(0) ack 0 win > 192.168.201.60.80: S 0:0(0) win 8192 フェーズ:1 8192 フェーズ:1 タイプ: CAPTURE タイプ: CAPTURE Subtype: Subtype: 結果:許可 結果:許可 Config: Additional Information: Config: Additional Information: MAC Access list MAC Access list フェーズ:2 フェーズ:2 タイプ:ACCESS-LIST ブロックル タイプ: ACCESS-LIST Subtype: ールを使用 結果:許可 Subtype: してパケッ |結果:許可 Config: トを処理す Config: Implicit Rule るには Implicit Rule Additional Information: Additional Information: MAC Access list MAC Access list フェーズ:3 フェーズ:3 タイプ: NGIPS-MODE サブタイプ: ngips-mode タイプ: NGIPS-MODE サブタイプ: ngips-mode 結果:許可 結果:許可 Config: Config: Additional Information: Additional Information: NGIPSモードに設定されたインターフェ NGIPSモードに設定されたインターフェ∥イスに入力されたフローとNGIPSサービ イスに入力されたフローとNGIPSサービ∥スが適用されます スが適用されます フェーズ:4 フェーズ:4 タイプ: ACCESS-LIST タイプ: ACCESS-LIST サブタイプ:ログ サブタイプ:ログ 結果:ドロップされる

結果:DROP

Config:

access-group CSM_FW_ACL_ global access-list CSM_FW_ACL_ advanced deny ip 192.168.201.0 255.255.255.0 any rule-id 268441600 event-log flowstart

access-list CSM_FW_ACL_ remark ruleid 268441600:アクセスポリシー

: FTD4100 - 必須/1

access-list CSM_FW_ACL_ remark rule-id 268441600: L4 RULE: Rule 1

Additional Information:

Result:

入力インターフェイス:内部 入力ステータス:アップ

input-line-status:up(入力回線ステータ

ス:アップ)

アクション:ドロップ

ドロップ理由: (acl-drop)設定されたル ールによってフローが拒否されます

1 packet shown

>

Config:

access-group CSM_FW_ACL_ global access-list CSM_FW_ACL_ advanced deny ip 192.168.201.0 255.255.255.0 any rule-id 268441600 event-log flow-start

access-list CSM_FW_ACL_ remark ruleid 268441600:アクセスポリシー

:FTD4100 - 必須/1

access-list CSM_FW_ACL_ remark ruleid 268441600: L4 RULE: Rule 1

Additional Information:

Result:

入力インターフェイス:内部 入力ステータス:アップ

input-line-status:up(入力回線ステータ

||ス:アップ)

アクション:アクセスリストはドロップ されますが、パケットはインラインタッ プにより転送されます

1 packet shown

| >

要約

- インラインペアモードを使用すると、パケットは主にFTD Snortエンジンを通過します
- TCP ステートバイパス モードの TCP 接続が処理される。
- FTD LINAエンジンの観点からは、ACLポリシーが適用されます
- インラインペアモードが使用されている場合、パケットはインラインで処理されるためブロックできます
- タップモードが有効な場合、実際のトラフィックが変更されずにFTDを通過する間、パケットのコピーが内部で検査され、ドロップされます

関連情報

- Cisco Firepower NGFW
- テクニカル サポートとドキュメント Cisco Systems

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。